



SAS、AIモデル構築のための開発者環境を提供する

SAS Viya Workbenchの一般提供を開始

軽量な開発者用キャンバスにより、クラウドネイティブでスケーラブルな環境で
SASやPythonの迅速なコーディングが可能に

AIおよびアナリティクスのリーディング・カンパニーである米国SAS Institute Inc. (以下SAS)は、[SAS Viya Workbench](#)の一般提供を初めとする、同社の主力製品であるデータおよびAIプラットフォームSAS® Viya®の拡張機能を発表しました。SAS Viya Workbenchは開発者やモデラーを対象に、データプレパレーションや探索的データ解析、分析モデルや機械学習モデルの開発を行うためのセルフサービス型コンピューティング環境をオンデマンドで提供します。

IDCのAIソフトウェア担当リサーチディレクターであるキャシー・ラング(Kathy Lange)氏は、次のように述べています。「SAS ViyaはSASのソフトウェアエコシステムの基盤であると同時に、革新的な製品を投入してポートフォリオを発展させ、ユーザーの多彩なニーズに応えています。オンデマンドのアナリティクス環境であるSAS Viya Workbenchのような新製品の狙いは、生産性を向上し、パフォーマンスを強化することによって、AI開発者の信頼を築くことにあります」

実験と探求のための開発者用キャンバス

SAS Viya Workbenchでは、開発者やモデラーが好みの言語を使用できます。SAS、Pythonに加えて、2024年末までにはRも使用できるようになります。SAS Viya Workbenchは直観的で柔軟なインターフェイスで、Jupyter Notebook/JupyterLabおよびVisual Studio Codeの2つの開発環境を提供します。

SASの強力な分析プロシージャ(PROC)とSAS Viya Workbenchに搭載されたネイティブPython APIを活用することで、高パフォーマンスのAIモデルの開発を加速します。さらにSAS Viya Workbench独自の、最先端のカスタムPythonライブラリにより、開発者は既存のPythonプログラムに最小限の変更を加えるだけで、開発のスピードと性能を大幅に改善することができます。

SAS Viya Workbenchは、セルフプロビジョニング機能やセルフターミネイト機能を備え、最小限のITサポートで柔軟でスケーラブルかつ効率的な開発環境をオンデマンドで提供します。分析専用の環境には、カスタマイズ可能なCPU/GPUが搭載され、プロジェクトのニーズに応じた演算能力が得られます。モデル等の成果物はSAS Viyaでデータ管理やガバナンスに活用し、オペレーションを展開することができます。

SAS Viya Workbenchは手始めとして、今年第2四半期中にAmazonのAWS Marketplaceを通じて提供を開始し、今後他のクラウドプロバイダーへの対応およびSaaS導入オプションを追加していく計画です。

開発者の生産性を高め、AIイノベーションを加速

SAS Viya Workbenchは強力なビジネスケースとなります。AI開発者やモデラーは、最新のオープンソースパッケージや最先端のクラウドコンピューティングで作業したいと考える一方で、迅速に結果を出しつつコストを管理しなければならないというプレッシャーにさらされています。さらに、開発やイノベーション、反復と検証という作業に集中できるよう、事前に構築されたスケーラブルなインフラストラクチャを求めています。

SASのエンジニアリング担当上級副社長であるジャレッド・ピーターソン(Jared Peterson)は、次のように述べています。「開発者が多くの課題に直面することは、単に煩わしいだけでなく、質問への回答や仕事の遂行を妨げる障害にもなっています。SAS Viya Workbenchは、開発者が好みの言語やIDE(統合開発環境)を選択し、プロジェクトの必要に応じて演算能力を調整できるようにします。こうして生産性や効率を高めることによって、最大限の柔軟性と成果を提供します。開発者は作業を迅速化し、より創造的になると同時に、より多くのリスクにも対処できるようになります。正直これは想定していなかった収穫ですが、仕事をもっと楽しくしてくれることにも繋がります」

SAS Viya Workbenchの詳細については、[SAS.com/workbench](https://sas.com/workbench)を参照ください。

今回の発表は、ビジネスリーダー、技術者、SASパートナー向けのデータおよびAIのSAS年次イベントである[SAS Innovate](#)において行われました。SASからの最新ニュースを継続的に受け取るには、X/Twitterで[@SASsoftwareNews](#)をフォローしてください。

*2024年4月17日に米国SAS Institute Inc.より発表された[プレスリリース](#)の抄訳です。本記事の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語を優先します。

SASについて

SASは、アナリティクスのリーディング・カンパニーです。SASは、革新的なソフトウェアとサービスを通じて、世界中の顧客に対し、データをインテリジェンスに変換するためのパワーとインスピレーションを届けています。SASは「The Power to Know®(知る力)」をお届けします。

*SASとその他の製品は米国とその他の国における米国SAS Institute Inc.の商標または登録商標です。その他の会社名ならびに製品名は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ先

SAS Institute Japan株式会社

広報担当: jpnpress@sas.com

SAS PR事務局 (PRAP Japan)

sas_pr@prap.co.jp